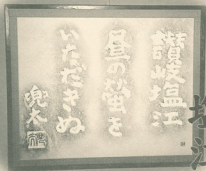


森田 暁峰

塩江ゆかりの拓本展

平成九年九月十七日(水)～十月五日(日)

町立塩江美術館



開館時間 / 午前九時から午後五時迄(入館は、午後四時三十分まで)
入館料 / 大人三〇〇円・高年生一五〇円・小中生八〇円
(団体二〇名以上は二割引)
休館日 / 月曜日
主 催 / 町立塩江美術館

今展覧会は、日本拓本研究会に所属する森田政雄（晩峰）氏が、昭和54年より集められた拓本の中から塩江に所在している碑の拓本やゆかりのある拓本を展示ご紹介するものです。

この機会に是非、日常ではなかなか目することのできない拓本の魅力にふれて見て下さい。

作 者	詩 文	採録年月日
金子 完太	讃岐塩江の海をいたたまぬ	平成3年7月15日
桂 悠子	ゆるやかに逝てひとと逢ふはたの夜	平成3年6月29日
水谷 静雄	空や深くはなりたる朝顔草	平成3年6月29日
山田 竹英	かみひなやふる道は見て過くるのみ	平成6年7月3日
山田 竹英	深ひかく渡る橋の夜ばかり	平成9年6月29日
藤澤 相夫	名も知らぬ赤き美なる木もありて 野原の山びかり時節なり	平成8年8月10日
横田 香風	潮はてひや花も美をます洗心洞	昭和55年11月8日
高岡北斗星	水音の響にしきみてゆきほたる	平成5年7月12日
藤澤 東風	紅葉春色新	昭和59年4月20日
初井平吾男	深むはく児が舞ひし夜籠	平成2年3月21日
新安神社	夜ひかる流かたばかり前灘にかげやす らひく遊める月かな	昭和55年11月8日
望郷の碑 (原川 静雄)	望郷の道に色り望郷の懐きを永遠 に輝かせし湖さの清き波はほけき 懐の懐もいたくれば返らぬふる	平成5年11月8日
西村 望	旅のひぐらしは帰る かなかなと 浮きもせず かなかなと泣きもせず 旅のひぐらしは帰る	平成6年7月3日
長原 繁	はくてわれの露えにし大塚前に立ちて みさぐるふるさとの前	昭和53年9月15日
長原 繁	ふるさとの讃岐のうみのいわがわに 立つゆけし少年の日よ	昭和55年11月16日
前川 空夫	緑蔭静けむらひの虫となり	平成3年12月22日
中山 永八	家は水の空とも異て夏の月	平成元年11月8日
河野新太郎	すくすくと苔木よ伸びるふと明かい雲も 流れたとえ地中に埋もれても根木を守る 根となりて子の新しいる親心ゆたかな の日常うけてみどりもえらるる母恋	昭和82年11月16日
後藤 芝山	「望郷の碑」	平成8年10月26日
坂本 正樹	雲霧の山に散らしのひつつ野原の 丘のあけぼのに立つ	平成6年10月26日

※展示の都合により一部変更になることもあります。

●●●●● [森田政雄(晩峰)略歴] ●●●●●

- 大正12年 1月 高松市に生まれる。
- 昭和15年 3月 香川県立木田農業学校卒業。
- 昭和15年 4月 広島通信局工務課高松出張所に採用。
- 昭和24年 6月 高松電報局勤務。以後四国電気通信
局、徳島電報電話局、香川電気通信
部、日本電信電話公社を経て昭和
54年4月退職。
- 昭和48年 8月 東洋書道会に入会。
- 昭和54年 6月 日本拓本研究会に入会。
- 昭和54年12月 東洋書道学会の師範。
- 昭和56年 8月 第1回ふるさとの文学碑拓本展を
開催(NHK放送局ロビー)
- 平成4年 4月 NHK高松文化センター「楽しい
拓本と表装」教室の講師
- 平成5年 9月 第13回ふるさとの文学碑拓本展を開催。
- 平成6年 2月 著書「讃岐の文学碑」発行。
- 平成8年10月 第16回ふるさとの文学碑拓本展を開催。
(香川拓本会)(NHK高松放送局ふれあいギャラリー)

楽しい拓本教室

(講師：森田晩峰先生)

実施日：9月21日 午後1時から3時迄

募集定員／20名(先着順)

9月28日 午後1時から3時迄

募集定員／20名(先着順)

受講料
無料

お申し込み・お問い合わせ先／町立塩江美術館 TEL(0878)93-1800

町立塩江美術館

〒761-16
香川県香川郡塩江町大字原上字星越602番地
TEL(0878)93-1800/FAX(0878)93-1833

